

## Concept ①

### 新たな産業活力の創出 循環型社会を目指す工場や研究施設等を誘致し、産業活力の向上や新たな雇用を創出します



#### コンセプト ストーリー

当地区のような内陸部の広い面積の土地に対する産業立地需要は高く、特に、東名高速道路「守山スマートIC」が開通するなどし、立地条件は向上していきます。

産業の振興は、豊かで活力あるまちを築いていくために欠くことのできないものですが、近年の工場や研究施設は、環境影響が極めて低いばかりでなく、循環型で廃棄物が出ない取り組みや社会貢献として地域の環境保全に取り組むなど、循環型社会実現を目指した活動をしています。

このような企業の立地は、新たな産業の創出だけでなく、雇用や人々の活躍の場、市の税収増による行政サービスの充実も期待できます。

この案は、地区の広域的交通条件を生かして、近年では少なくなっている工業誘致を積極的に行う戦略を推進するものです。

主な課題としては宅盤等の整備や複数のアクセス道路を含めた整備コストが膨大であることや、業務交通が発生することによる周辺住民への影響の対策、企業ニーズの把握とともに競合する工業団地等との差別化を立地優遇策を含めて検討することです。

# Concept ① 新たな産業活力の創出

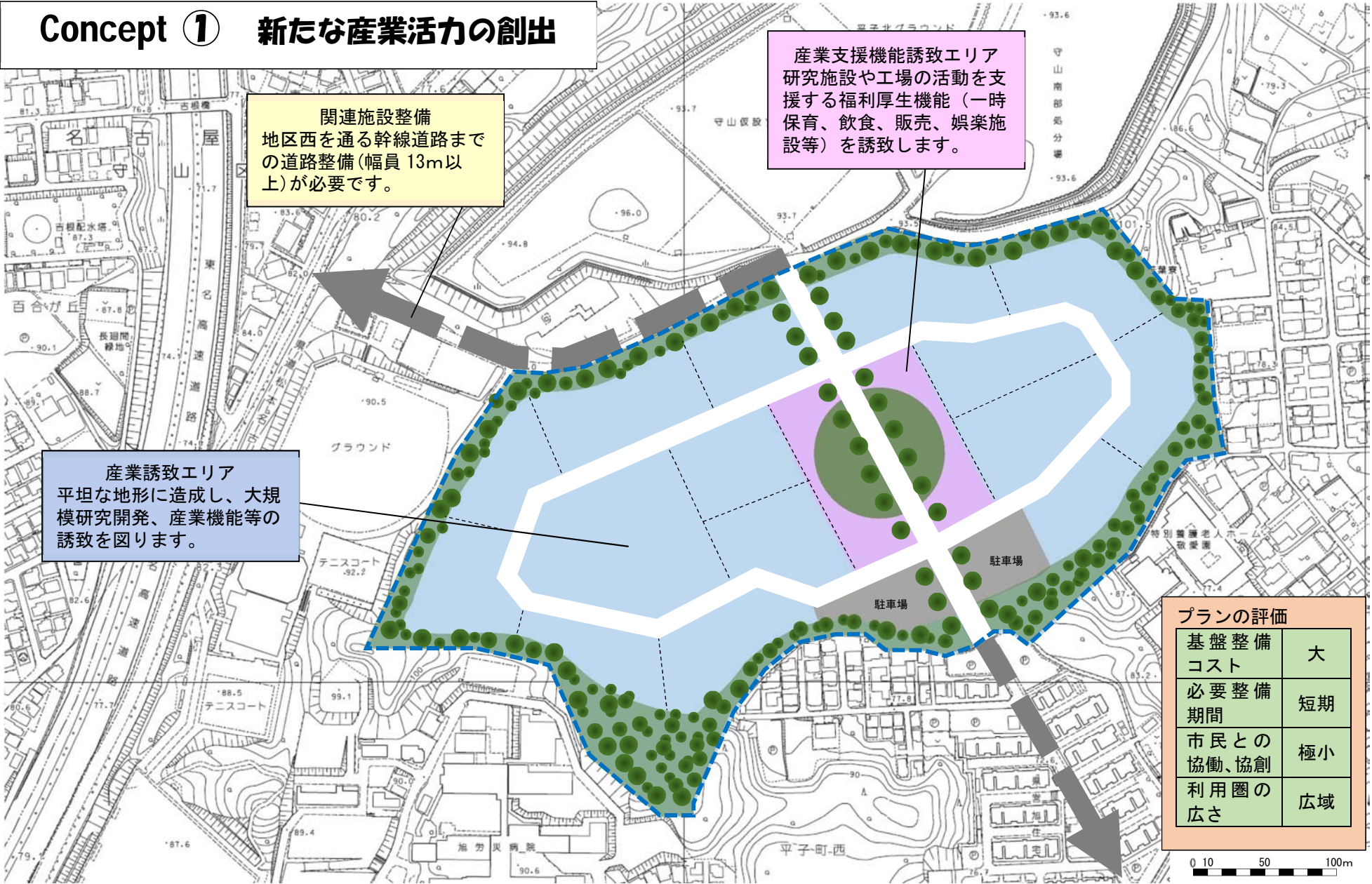
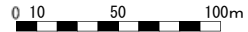
関連施設整備  
地区西を通る幹線道路までの  
道路整備(幅員13m以上)  
が必要です。

産業支援機能誘致エリア  
研究施設や工場の活動を支  
援する福利厚生機能(一時  
保育、飲食、販売、娯楽施  
設等)を誘致します。

産業誘致エリア  
平坦な地形に造成し、大規  
模研究開発、産業機能等の  
誘致を図ります。

プランの評価

基盤整備 コスト	大
必要整備 期間	短期
市民との 協働、協創	極小
利用圏の 広さ	広域



## Concept ②

### 高質な公園文化の創出 傾斜地を活かした季節ごとに美しい市民主体の公園を創出し、周辺の緑環境に配慮しながら活用します



#### コンセプト ストーリー

地区に残っている緑は、森林公園から小幡緑地につながる緑の回廊として、生態系の保全に役立っている貴重なもので、この維持には人の手が不可欠です。

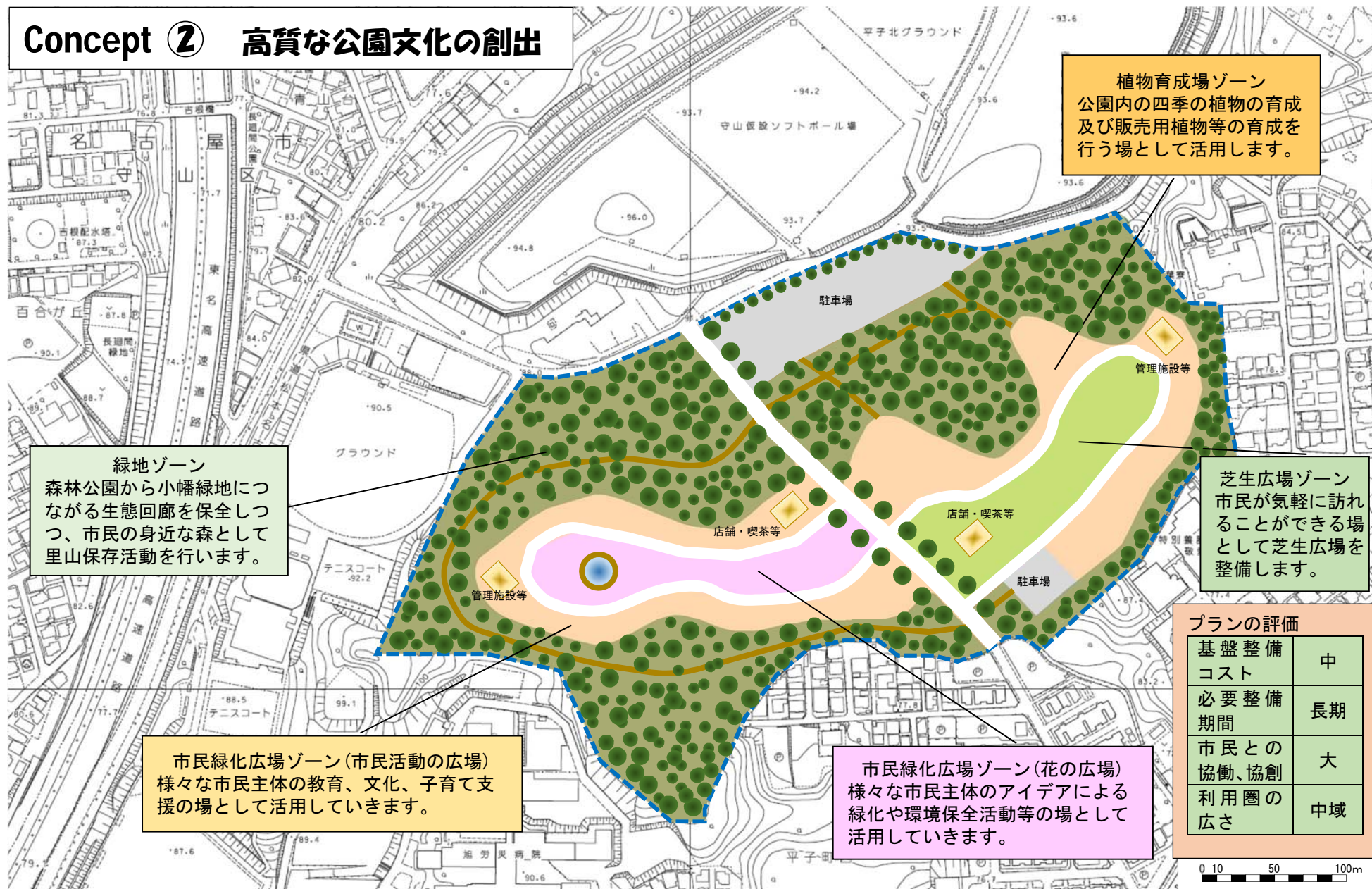
このプランでは、地区を公園として整備するだけでなく、多様な市民が主役となって関わり合いながら、うるおいのある緑を育てる公園を目指します。公園には季節ごとの植物や装飾された庭、芝生広場がそれぞれの手によって育まれています。

市民が主役の公園は、自然保全以外でも教育、文化、子育て支援などの活動の場となり、尾張旭の魅力である公園を核とした新たなライフスタイルの実現を目指すことができます。

市民の多様な参画を進めることにより、市民が創意工夫して特色ある花園づくりなどの活動を盛んにします。

主な課題は、活動が可能な場所から市民参画を進めて、少しずつ園路や公園等を広げ、最終的には名古屋圏でも個性がある緑と公園の空間を形成する事業を組み立てることです。

## Concept ② 高質な公園文化の創出



**植物育成場ゾーン**  
公園内の四季の植物の育成  
及び販売用植物等の育成を  
行う場として活用します。

**緑地ゾーン**  
森林公園から小幡緑地につ  
ながる生態回廊を保全しつ  
つ、市民の身近な森として  
里山保存活動を行います。

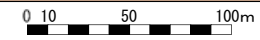
**芝生広場ゾーン**  
市民が気軽に訪れるこ  
うなことができる場  
として芝生広場を  
整備します。

**市民緑化広場ゾーン(市民活動の広場)**  
様々な市民主体の教育、文化、子育て支  
援の場として活用していきます。

**市民緑化広場ゾーン(花の広場)**  
様々な市民主体のアイデアによる  
緑化や環境保全活動等の場として  
活用していきます。

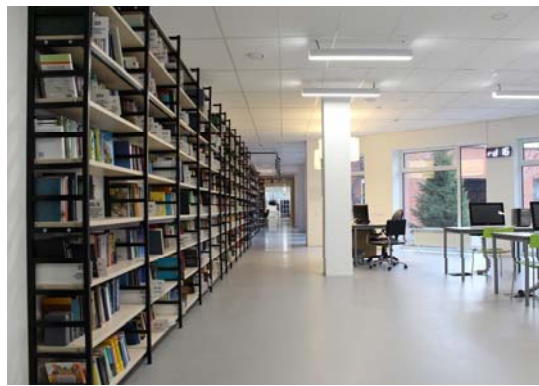
**プランの評価**

基盤整備 コスト	中
必要整備 期間	長期
市民との 協働、協創	大
利用圏の 広さ	中域



## Concept ③

**公共施設の集約化による市民サービスの向上  
老朽化した公共施設等の更新用地として活用するとともに、その跡地を有効活用します。**



### コンセプト ストーリー

現在利用されている本市の公共施設の大半は、十分な耐震性能を有していますが、建築から長い年月が経過しており、今後は老朽化に対応するための大規模な改修や建替えが増加すると予想されます。

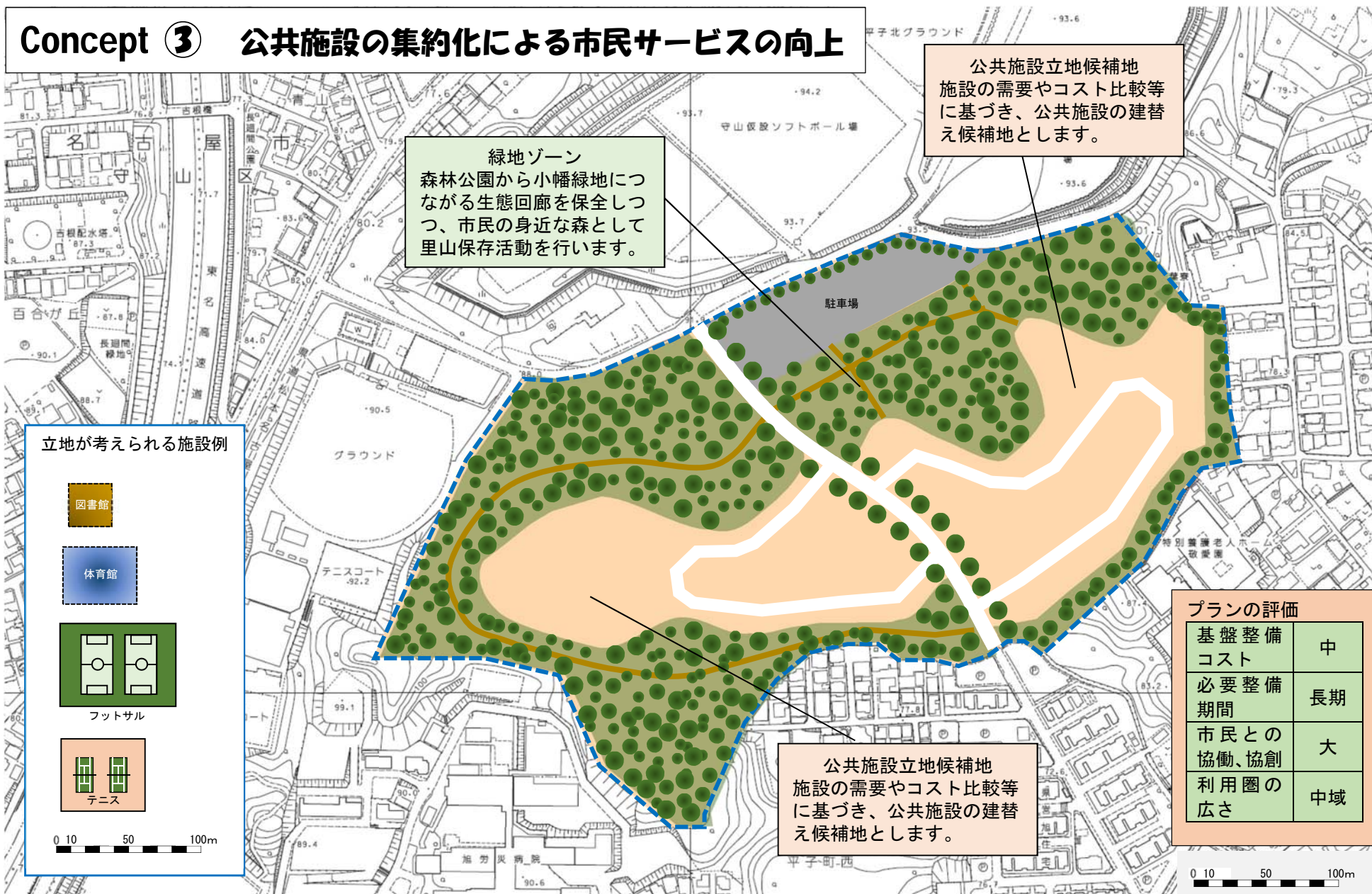
これらの中には現在地で建替えるより、別の立地に集約するなどをした方が、施設運営の効率化や設備の共有化等のメリットがある施設もあります。そこで、効率的で効果的な行財政運営を目指す観点から、老朽化している施設のうち、当地区に立地することがメリットとなる施設について、段階的に集約を進めます。

また、市の中心部にある公共施設が当地区に移ることで、市の中心部の活性化や行政サービスを充実させることが可能になります。

これにより、地区が公共施設の拠点となり、同時に中心部においても鉄道駅周辺という利便性を生かしながら、定住人口とともに新たな産業活動等を吸引することが期待されます。

主な課題は、施設や活動に対する市民ニーズ把握するとともに集約する施設を検討すること、公共交通のアクセスを確保することです。



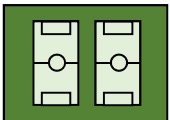
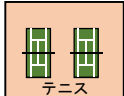
# Concept ③ 公共施設の集約化による市民サービスの向上



**緑地ゾーン**  
 森林公園から小幡緑地につながる生態回廊を保全しつつ、市民の身近な森として里山保存活動を行います。

公共施設立地候補地  
 施設の需要やコスト比較等に基づき、公共施設の建替え候補地とします。

**立地が考えられる施設例**

-  図書館
-  体育館
-  フットサル
-  テニス

**プランの評価**

基盤整備コスト	中
必要整備期間	長期
市民との協働、協創	大
利用圏の広さ	中域

公共施設立地候補地  
 施設の需要やコスト比較等に基づき、公共施設の建替え候補地とします。

0 10 50 100m

0 10 50 100m

## Concept ④

### 緑に囲まれた研究施設群 研究者が望む自然に囲まれた教育・研究施設群を整備し、広く開放します。



#### コンセプト ストーリー

現在は時代の転換期といわれ、情報、医療、ロボット、航空宇宙など、世界各地で次世代の産業創成に向けた多くの研究開発が進み、名古屋都市圏でも多くの先端産業の研究開発が行われています。

これらの研究に関わる大学や研究施設は、豊かな自然環境の中に立地を希望することが多く、実際に企業の本社や研究所が、公園や文化施設等を伴うことが多くなっています。

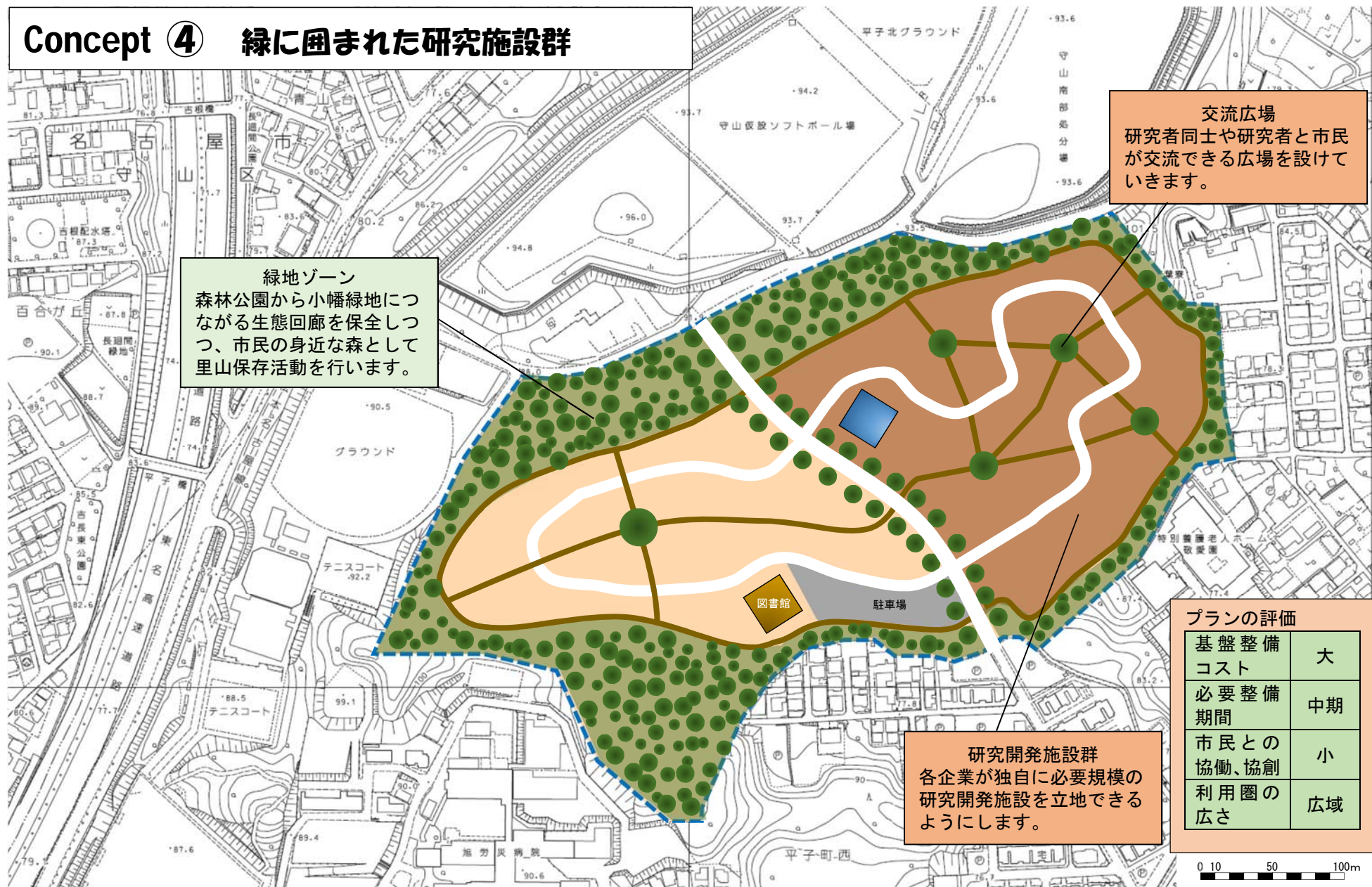
そこで、近隣の研究施設等との差別化を図る意味からも、研究者が望む自然、文化、教育的機能が整った研究施設群を形成し、新たな産業をはじめとして、雇用や人々の活躍、市の税収増を目指します。

また、オープンスペースを開放し、市民の憩いの場、研究者を志す者に良好な研究環境とインスピレーションを与える場を整備します。

これにより、名古屋市近接で都心との時間距離が近い位置に特色ある産業創出拠点を形成するとともに、立地企業とともに研究者等の女性の活躍を後押しすることが期待されます。

主な課題は、宅盤等の整備コストを要すること、企業の研究動向や立地ニーズの把握、アクセスの充実、競合する研究団地等との差別化を研究者へ提供するサービスなどを含めて検討することです。

# Concept ④ 緑に囲まれた研究施設群



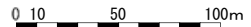
**緑地ゾーン**  
 森林公園から小幡緑地につながる生態回廊を保全しつつ、市民の身近な森として里山保存活動を行います。

**交流広場**  
 研究者同士や研究者と市民が交流できる広場を設けていきます。

**研究開発施設群**  
 各企業が独自に必要な規模の研究開発施設を立地できるようにします。

**プランの評価**

基盤整備コスト	大
必要整備期間	中期
市民との協働、協創	小
利用圏の広さ	広域





## Concept ⑤

**誰もが自分らしい暮らしを続けることができる居住環境  
健康、福祉施設と住宅に関係性を持たせて配置し、安全、安心に暮らせる環境をつくります**



### コンセプト ストーリー

健康はかけがえのない財産であり、幸せな生活を営むための基本となるものです。

この平子町北地区は、近郊に旭労災病院が立地する環境があり、健康的に生涯を送ることに適した地区であるといえます。

そこで、健康、福祉に関連する周辺施設と連携して、尾張旭市の健康、福祉拠点を形成しながら、誰もが安心、生きがいを感じ、自分らしい暮らしを続けることができる居住環境を形成するとともに、利用者の社会参加の場を整えることも想定して活用していきます。

これにより、地区周辺や尾張旭市の総合的、包括的な健康づくりと福祉サービスを充実して、健康都市のイメージをさらに強化します。

主な課題は、宅盤整備等のコストを要することや、健康、福祉、住宅関連の事業者のニーズ把握、公共交通を含めたアクセスの向上を図ることです。

# Concept ⑤ 誰もが自分らしい暮らしを続けることができる居住環境

**健康増進施設用地**  
健康増進のための運動施設を誘致し、健康増進を図ります。

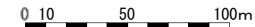
**住宅団地**  
3階建て程度でユニバーサルデザインの1人から家族向きまで様々なパターンがある集合住宅を誘致していきます。

**病院連携エリア**  
労災病院などと連携して、アニマルセラピーや園芸セラピー、音楽療法などの多様な医療連携機能を誘致していきます。

**多世代生きがいエリア**  
年齢、性別、障がいの有無にかかわらず、多くの世代が関りながら、それぞれのパワーを生かすことができる特色のある施設を誘致していきます。

**プランの評価**

基盤整備コスト	大
必要整備期間	中期
市民との協働、協創	小
利用圏の広さ	中域



## Concept ⑥

### ひとりひとりが文化的な豊かさを感じる場所 文化、アート、生涯学習などの活動の場を整え、豊かな暮らしを創出します



#### コンセプト ストーリー

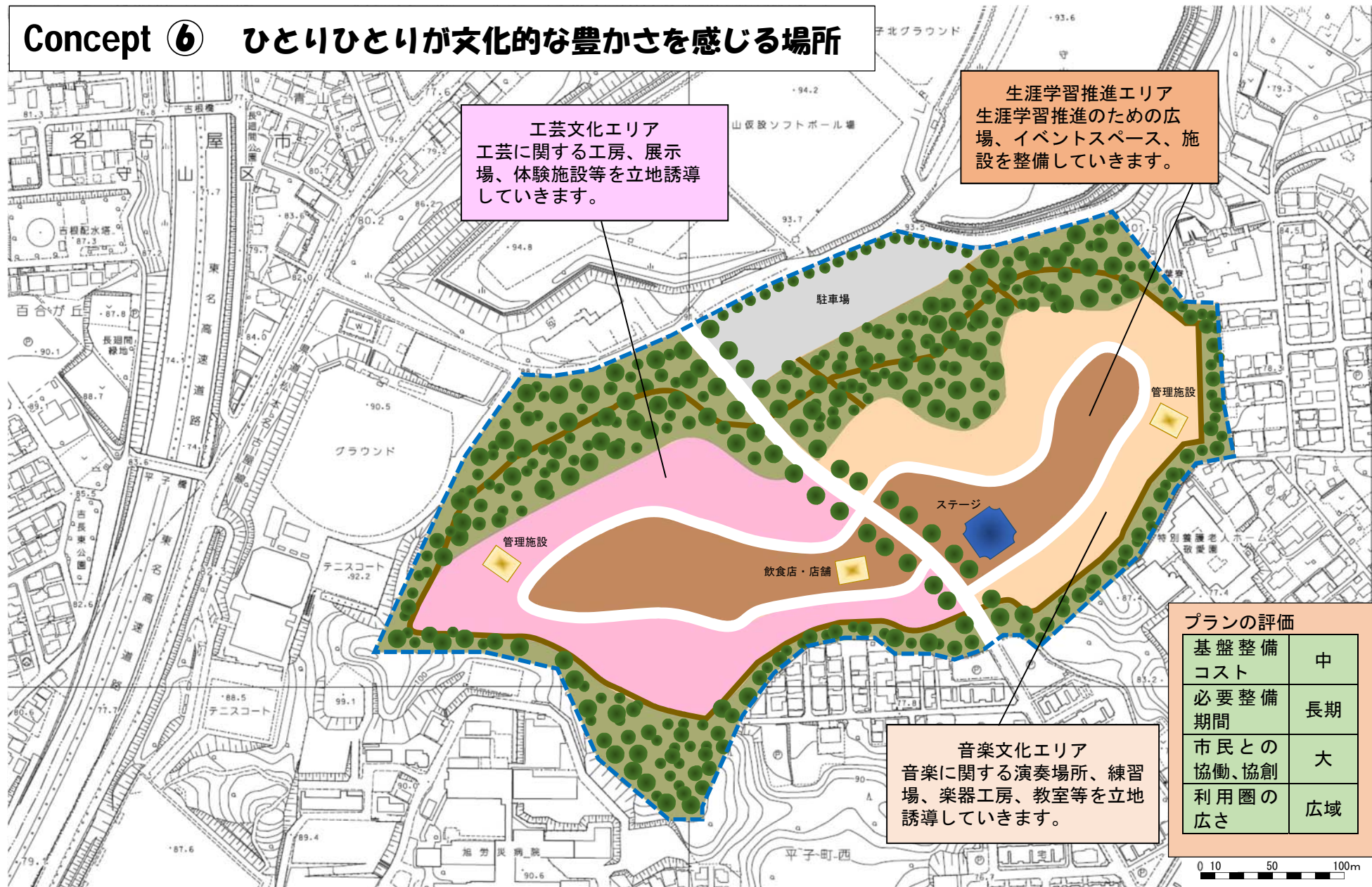
人々の価値観は多様化し、仕事や日常生活以外の趣味や学習のために時間を使う人が増えていることから、豊かな心と知性を育むライフスタイルが実現できる都市が、ますます人気の居住場所になると考えられます。

そこで、尾張旭市の子どもから高齢者までの多世代が、生活をより豊かにできるよう文化、アート、生涯学習のための施設を整備・誘致し、市民の豊かな暮らしを実現する地区を創出していきます。

地区全体が人々に利用されることによって、多様な人々による新たな交流や地域の活力の発信が行われ、新たなライフスタイルの機会を提供することや、市民の学習意欲向上、生きがいづくり、都市文化の向上に波及することが期待されます。

主な課題は市民の活動ニーズを把握することや、活動意欲を高めること、公共交通を含めたアクセスの向上、施設整備やソフト面の事業に参画する民間事業者を掘り起こすこと、市内類似施設の再編を図ることです。

# Concept ⑥ ひとりひとりが文化的な豊かさを感じる場所



工芸文化エリア  
 工芸に関する工房、展示場、体験施設等を立地誘導していきます。

生涯学習推進エリア  
 生涯学習推進のための広場、イベントスペース、施設を整備していきます。

音楽文化エリア  
 音楽に関する演奏場所、練習場、楽器工房、教室等を立地誘導していきます。

プランの評価

基盤整備コスト	中
必要整備期間	長期
市民との協働、協創	大
利用圏の広さ	広域

## Concept ⑦

### 健康都市を象徴する拠点の創出 健康都市尾張旭市を象徴するスポーツ施設と公園の複合的な地区を創出します



#### コンセプト ストーリー

尾張旭市は健康都市を標榜しており、市民の健康づくりを推進するためには、子どもから高齢者まで広い年齢層を対象とした健康づくりの場を整えていくことが必要です。

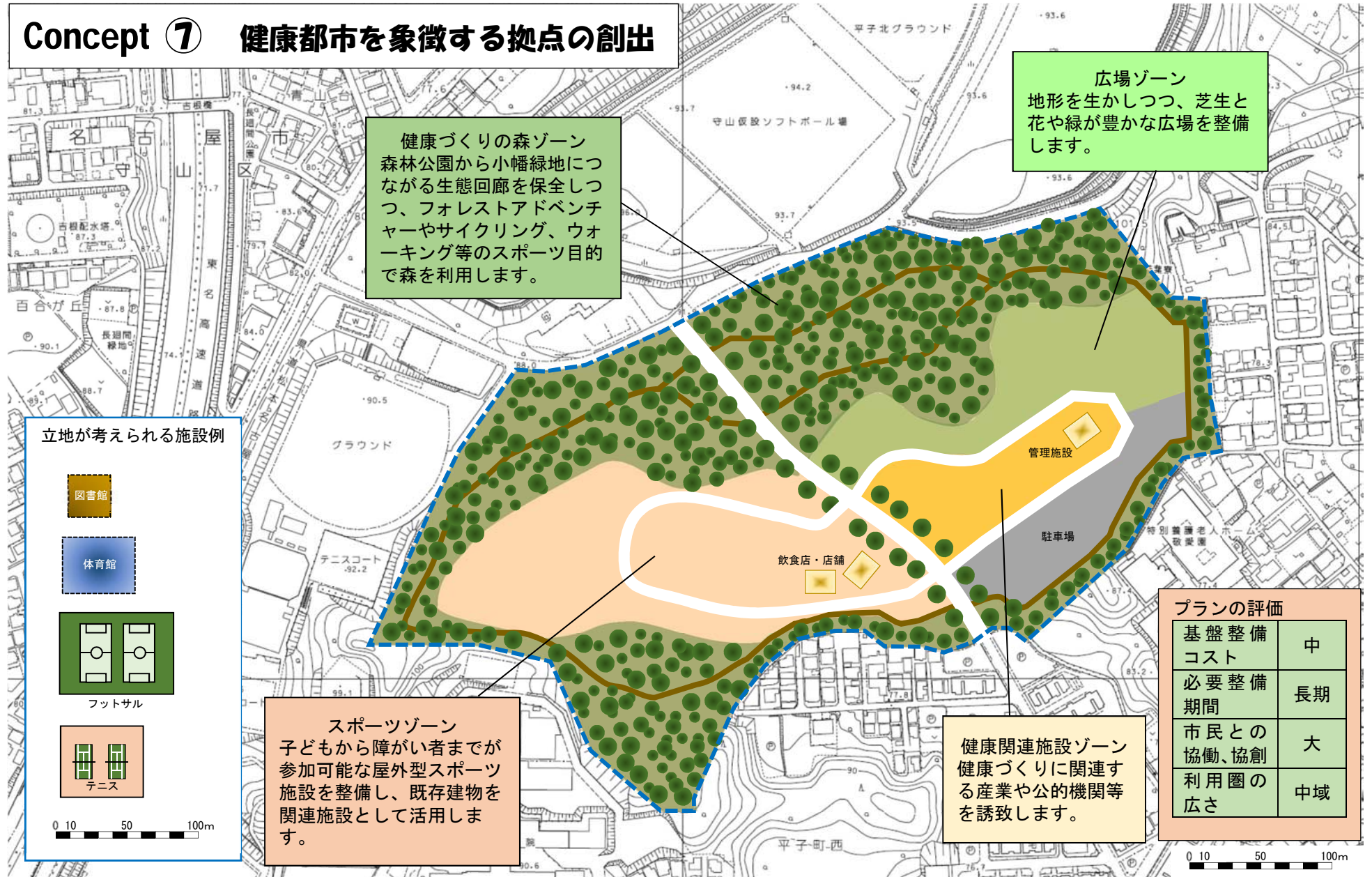
このプランでは、運動を通じて健康都市を推進するだけでなく、食や入浴などの付帯施設も含め、楽しみながら健康を維持増進できるという、近年の健康に対する需要の高まりに対応できる施設を目指します。

平子町北地区には広く高低差のある土地と緑地があることから、この環境を生かして、健康都市尾張旭市を象徴するようなスポーツ施設、レクリエーション施設、飲食施設等を配置し、広く市民の健康づくりをサポートする拠点を形成していきます。

これにより、尾張旭市の健康都市としてのブランドを強化して、市外の住民の利用も誘導することや事業者の参画を得ることが期待されます。

主な課題としては、市内の類似施設の再編、市民ニーズの把握、健康やスポーツに関連する事業者を掘り起こすこと、公共交通を含めたアクセスの向上を図ることです。

# Concept ⑦ 健康都市を象徴する拠点の創出



**健康づくりの森ゾーン**  
 森林公園から小幡緑地につながる生態回廊を保全しつつ、フォレストアドベンチャーやサイクリング、ウォーキング等のスポーツ目的で森を利用します。

**広場ゾーン**  
 地形を生かしつつ、芝生と花や緑が豊かな広場を整備します。

立地が考えられる施設例

- 図書館
- 体育館
- フットサル
- テニス

0 10 50 100m

**スポーツゾーン**  
 子どもから障がい者までが参加可能な屋外型スポーツ施設を整備し、既存建物に関連施設として活用します。

**健康関連施設ゾーン**  
 健康づくりに関連する産業や公的機関等を誘致します。

プランの評価

基盤整備	中
コスト	長期
必要整備期間	長期
市民との協働、協創	大
利用圏の広さ	中域

0 10 50 100m

## Concept ⑧

**市全体に影響する新たな都市基盤の整備  
名古屋市営地下鉄の延伸により、市民の利便性の向上と活性化を目指します。**



### コンセプト ストーリー

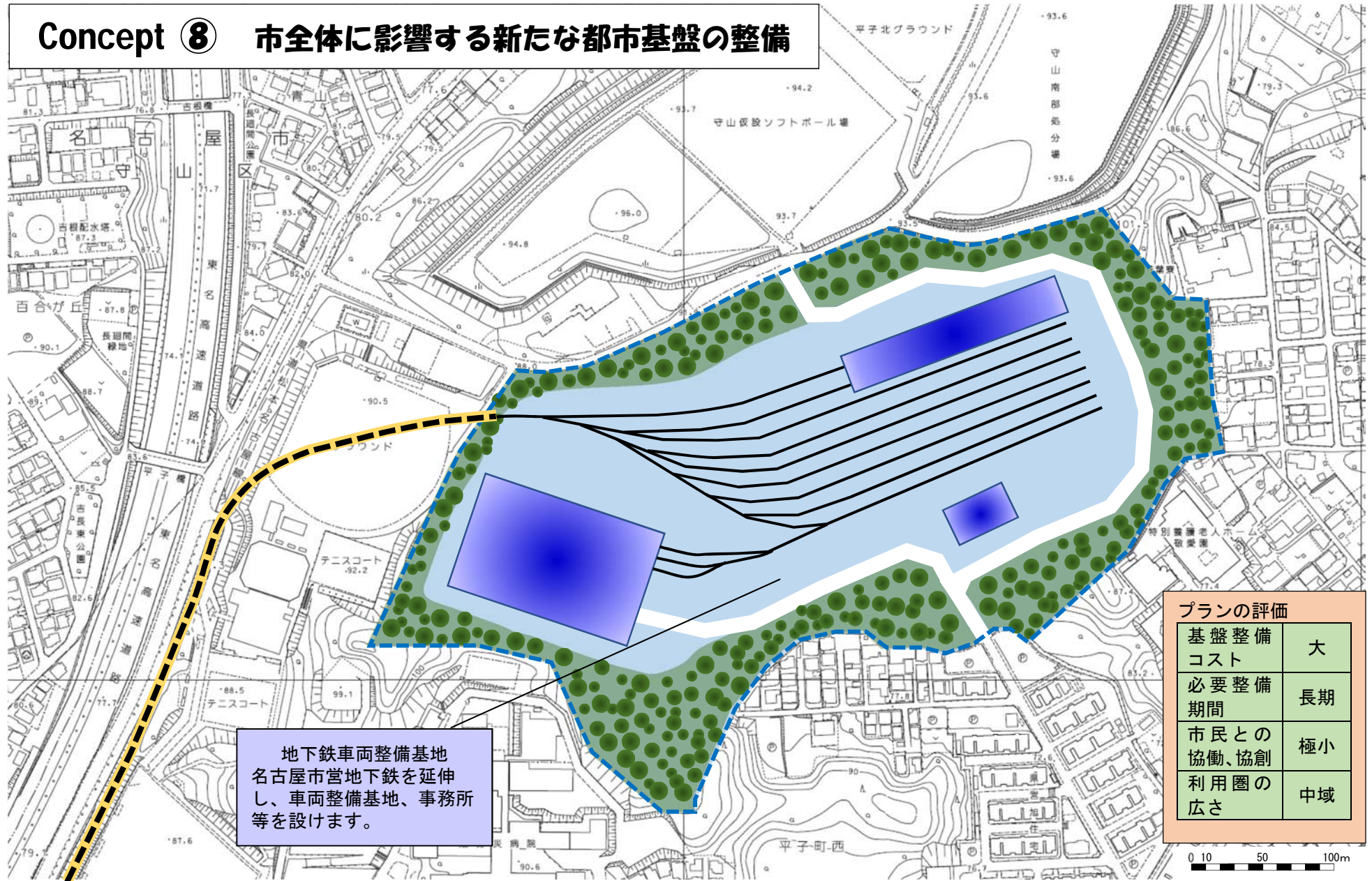
自家用車による移動が中心の東海地方にあっても、公共交通は人々の生活を支える重要な移動手段となっており、本市では、市の中心部を通る鉄道と、市内を走るコミュニティバスが人々の生活を支えています。

これらの交通機関の利便性向上は、市民の生活をより快適なものへと変化させることが予想できます。

そこで、名古屋市と連携し、名古屋市営地下鉄を藤が丘駅から当地区まで延伸し、車両整備基地を誘致することができれば、交通利便性の向上、途中駅周辺の産業活性化、出かけたくなるまちの実現が期待できます。また、尾張旭市のメリットのみならず、名古屋市にとっても既存の車両基地等の再開発や東山線沿線の活性化などの可能性が生まれます。

主な課題は、整備コストが膨大であることや、名古屋市との協議を進める必要があることです。

# Concept ⑧ 市全体に影響する新たな都市基盤の整備



地下鉄車両整備基地  
名古屋市営地下鉄を延伸し、車両整備基地、事務所等を設けます。

基盤整備コスト	大
必要整備期間	長期
市民との協働、協創	極小
利用圏の広さ	中域

駐車場



## Concept ⑨

### 子どもが健やかに育つ拠点の創出 幼稚園・保育園を中心としながら子育てを統合的に支援できる拠点地区を創出します



#### コンセプト ストーリー

乳幼児期の保育や教育は非常に多様化してきており、ユニークな保育・教育方針を持つ保育園、幼稚園等の需要が高く、良好な保育・教育環境を求めて移住する世帯もみられる状況です。

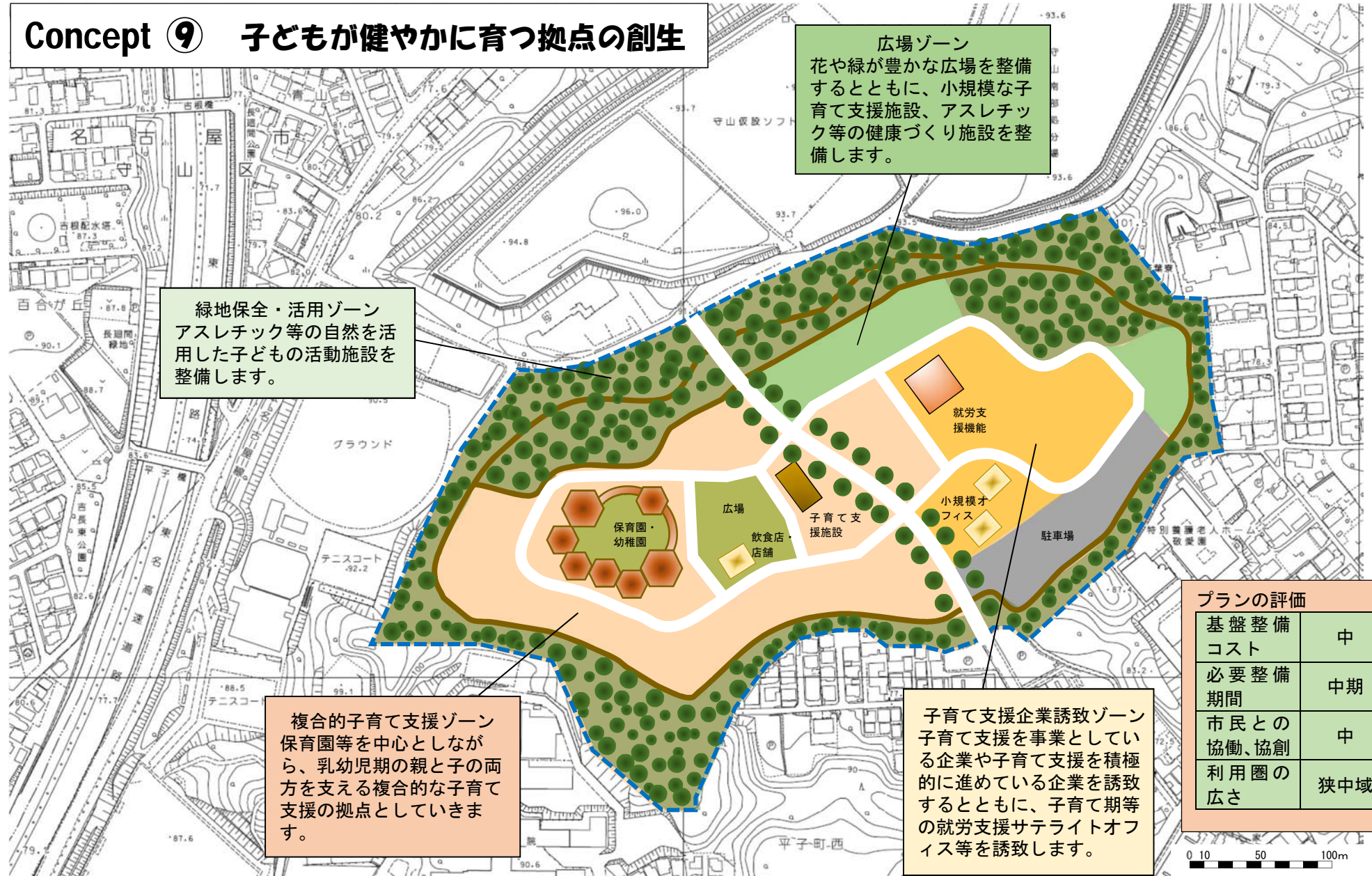
少子高齢社会の中、尾張旭市においては住宅都市という特色に加え、「子どもが健やかに育つ環境がある」という特色を合わせ、豊かな人間が育つ都市であることを目指していくことが重要です。

そこで、緑豊かな環境の中の特色ある幼稚園又は保育園の誘致を核とし、子どもを預ける親が働く場を整備するとともに、産前産後ケア、託児、育児相談、親子レストランなどの子育てを総合的に支援していく拠点的功能を目指します。

これにより、尾張旭市内の総合的、包括的な子育て支援の拠点として市内の子育て環境を高めて、定住の促進や人口増加へつながる効果が期待できます。

主な課題は、市民の子育て支援のニーズや関連事業者のニーズ把握、公共交通を含めたアクセスの向上、名古屋屋周辺都市の子育て支援策や拠点との差別化を図ることです。

# Concept ⑨ 子どもが健やかに育つ拠点の創生



緑地保全・活用ゾーン  
アスレチック等の自然を活用した子どもの活動施設を整備します。

広場ゾーン  
花や緑が豊かな広場を整備するとともに、小規模な子育て支援施設、アスレチック等の健康づくり施設を整備します。

複合的子育て支援ゾーン  
保育園等を中心としながら、乳幼児期の親と子の両方を支える複合的な子育て支援の拠点としていきます。

子育て支援企業誘致ゾーン  
子育て支援を事業としている企業や子育て支援を積極的に進めている企業を誘致するとともに、子育て期等の就労支援サテライトオフィス等を誘致します。

プランの評価	
基盤整備コスト	中
必要整備期間	中期
市民との協働、協創	中
利用圏の広さ	狭中域

## Concept ⑩

### 緑と調和した健康と文化の創造拠点 健康と文化豊かな暮らしを創造する企業や市民の活動の場を整備します



#### コンセプト ストーリー

人々の価値観は多様化し、健康や文化のために多くの時間を費やす人はますます増加し、このような豊かな暮らしができる環境を備えた都市が人気の居住場所となると考えられます。

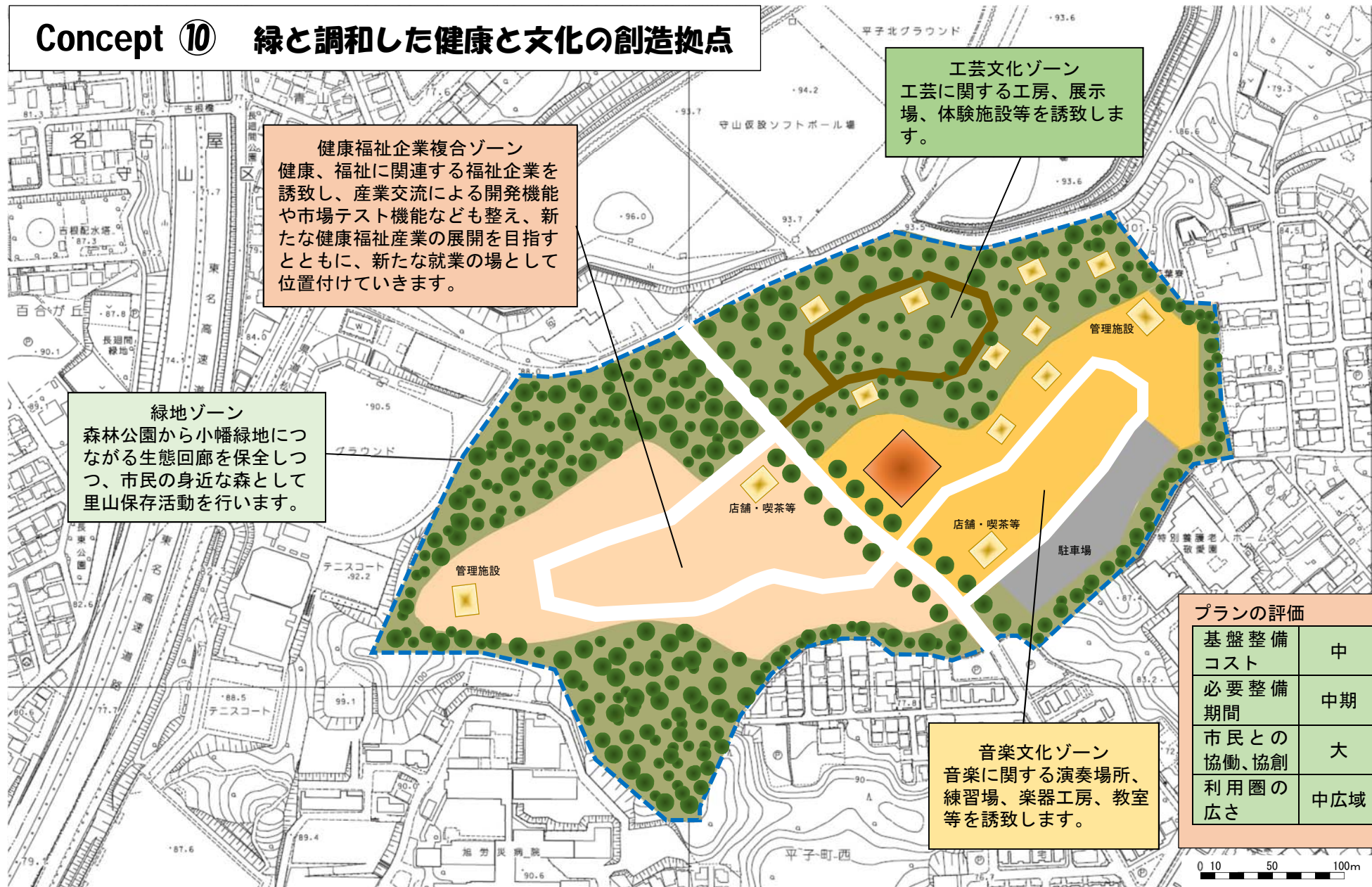
とりわけ、高齢化がますます進む中、健康・福祉を支える産業の需要は増大することから、これらの関連企業を複合的に誘致し新たな製品やサービスの開発を行っていくことが、重要な産業施策として考えられます。

そこで、健康・福祉関連の産業を複合的に誘致しつつ、産業交流や市場テストなどを行える環境を整えるとともに、文化施設との複合による、体と心両面のリハビリや健康増進ができる場を整備していきます。

これにより、尾張旭市の健康都市としてのブランドを産業面も含めて高めることが期待できます。

主な課題は市民の健康、福祉に関するサービスニーズ等の把握、関連事業者の事業動向や立地ニーズの把握、アクセスの向上、名古屋市周辺都市の健康、福祉施策や拠点との差別化を図ることです。

# Concept ⑩ 緑と調和した健康と文化の創造拠点



**健康福祉企業複合ゾーン**  
健康、福祉に関連する福祉企業を誘致し、産業交流による開発機能や市場テスト機能なども整え、新たな健康福祉産業の展開を目指すとともに、新たな就業の場として位置付けていきます。

**緑地ゾーン**  
森林公園から小幡緑地につながる生態回廊を保全しつつ、市民の身近な森として里山保存活動を行います。

**工芸文化ゾーン**  
工芸に関する工房、展示場、体験施設等を誘致します。

**音楽文化ゾーン**  
音楽に関する演奏場所、練習場、楽器工房、教室等を誘致します。

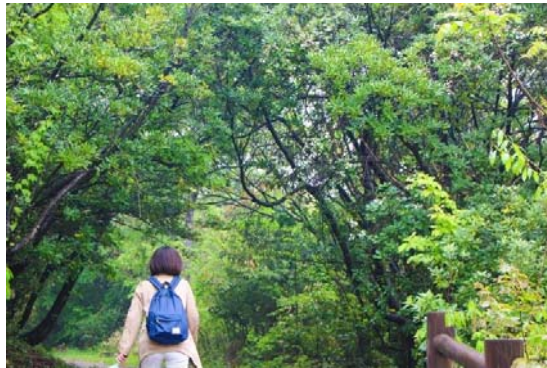
**プランの評価**

基盤整備コスト	中
必要整備期間	中期
市民との協働、協創	大
利用圏の広さ	中広域

0 10 50 100m

## Concept ⑪

**最小限の維持保存を継続  
市の中心部や住環境の整備、社会保障などへの財源投資を優先し  
大きな活用は行いません。**



### コンセプト ストーリー

少子高齢社会においては、都市機能を中心部に集約させる都市のコンパクト化が注目されています。また、限られた財源の使い方は、これまで以上に選択と集中をしていかなければいけません。

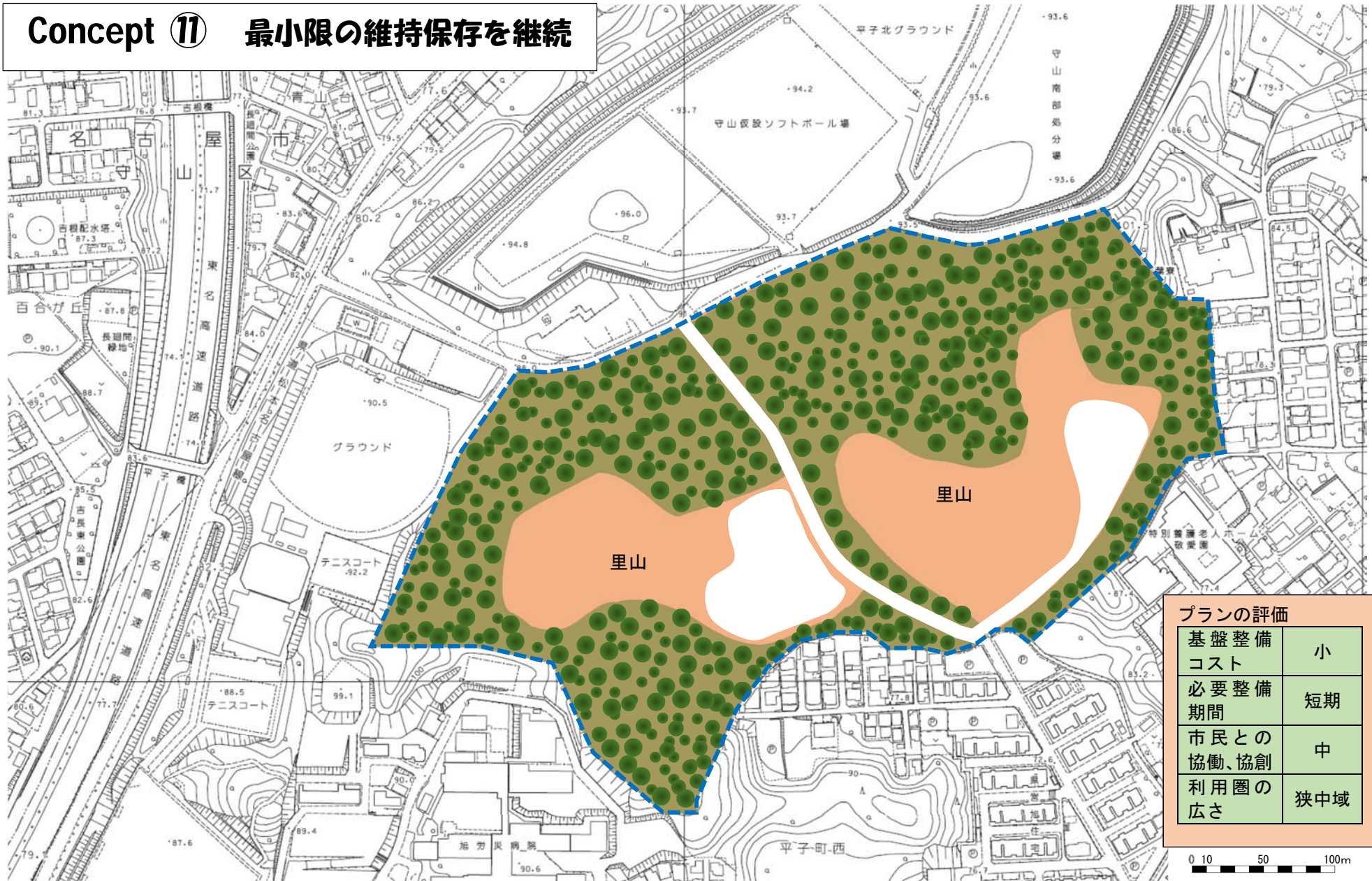
尾張旭市においても、駅前の活性化や高度利用、市の中心部に近い住宅環境の整備に力を入れた方が、まち全体としては行政サービスの向上につながる可能性があります。

当地区は、現在と同様に必要最小限の維持管理をしながら、大きな活用は行わず、社会状況が大きく変わった際には、新たな利用を考える方がよいと考えられます。

ただし、里山保全のような市民活動の場としては、活用をすることができます。これにより、緑が豊かで環境にやさしい尾張旭市のイメージを強化することや定住するに相応しい環境の都市としての魅力を高める効果が期待できます。

主な課題は、既存の建物の活用や解体などを順次進めることです。

# Concept 11 最小限の維持保存を継続



プランの評価

基盤整備コスト	小
必要整備期間	短期
市民との協働、協創	中
利用圏の広さ	狭中域

